広報 はちまんたい Hachimantai
Aug.2020 No.302

キラリ輝人（ひかりびと）85

つながりを大切に、地域ぐるみで防災力向上

市消防団長（4代目）
工藤 民一 さん

くどう・たみいち　69歳　＝高宮＝

昭和25年生まれ。妻と子、孫の３世代６人暮らし。有限会社工藤工務所建設代表取締役で、県建築士会盛岡支部八幡平市分会会長を務める。愛犬コーギーの散歩が日課で、昔より量は減ったが毎日欠かさない焼酎の水割りでの晩酌が至福の時間。

４月に市消防団は36分団を11分団に再編し、工藤民一氏を団長に新体制をスタートした。「新しい体制に慣れるまで時間がかかるかもしれないが、団員の話に耳を傾け、これまで以上に組織として連携を深めていきたい」と団長としての決意を固める。

地域の先輩の勧めがあり、24歳で消防団に入団した。「地区内外に仲間が増えて楽しかった。今でも自分を支えてくれている」と振り返る。消防団以外にも西根ライオンズクラブに所属し、ボランティア活動にいそしむ。「人のためになることが好きだから、どちらも続けられた」と笑みを浮かべる。

目標は「無火災の達成（※人口に応じて基準あり。本市の期間は６カ月）」ときっぱり。新型コロナウイルスの影響で、消防演習や訓練大会が中止となる中、火災予防・広報活動による地域の防災意識の向上を図る。

日本各地で気象変化に伴う自然災害が毎年のように発生している昨今「消火活動はもとより、要救助者の検索、救助活動、給水活動、危険箇所の警戒など幅広く訓練しなければならない」と気を引き締める。また、いつなんどき発生するか分からない災害に備え「消防団のみならず、行政や学校、地域にあるさまざまな組織や事業所など、日頃からつながりを大切に、地域ぐるみで防災力の向上を図りたい」と思いを抱く。

市消防団辞令交付式で訓示する工藤団長（４月３日、市役所）

■編集後記

▽市立病院の落成式を取材。病院といえば古く薄暗いイメージを持っていましたが、市立病院は新しく、広々として明るい雰囲気でした。病院と反対側の大更駅西側を通る大更駅前線も形が見えてきました。病院もでき、変わりゆく大更駅周辺の街並み、今からその変化が楽しみです。（多）

▽岩手山山開きの取材に行ってきました。体力には自信がありましたが、カメラに苦しめられました。ザックに入れると収納容量の６割位は占めるし、出し入れは大変だし、手で持って歩くにも重いし、転んで壊さないように気を使うし…小さいお殿様を運んでいるようでした。（吾）

【広　告】

※広報はちまんたい８月６日号（№302）の印刷経費は１部71.5円、発行部数は10,080部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、㈱総合広告社（☎019-626-3370）まで。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C023138

令和２年８月６日発行
〒028-7397岩手県八幡平市野駄第21地割170番地
■ホームページ https://www.city.hachimantai.lg.jp
■発行　岩手県八幡平市　☎0195-74-2111　FAX0195-74-2102　■編集　企画財政課
■印刷　川口印刷工業株式会社